

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月14日

事業者名: 一般社団法人ヒトノネ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
				指標	目標
環境	机、椅子、靴箱などを、子どもたちが作り、子どもたち自身やスタッフが普段から利用しています。子どもたち自身が作ることを体験し、つくる事だけで完結するのではなく、それを使う側にも立つことで、その責任までを体験的に学習することを目的にしています。	②つくる責任 つかう責任, ①住み続けられるまちづくりを, ④質の高い教育をみんなに	社内の家具のうち約30%が子供たちが講座で制作した家具になっています。	指標	社内の手作り家具の割合。
				目標	R6年度末までに社内の手作り家具の割合40%の達成。
社会	SDGsを子どもに伝えるための講座(サス学)を開講し、学童を利用する子どもたちにSDGsの概要や大切さなどを伝える取り組みと、地域の方を講師として呼び出して、地場産業や伝統芸能を子供達に伝える取り組みを行っています。	④質の高い教育をみんなに, ①住み続けられるまちづくりを	R5年現在、サス学を受講している子どもが8名います。	指標	サス学の受講者数。
				目標	R6年度末までに15名。
経済	社員の資格所得に係る費用を負担し、キャリア形成を支援しています。	③すべての人に健康と福祉を, ④質の高い教育をみんなに	R5年現在、児童発達支援管理責任者の資格所得支援人数2名、放課後児童支援員の資格所得支援人数2名、強度行動障害支援者の資格所得支援人数1名。	指標	社員の資格所得支援人数。
				目標	R6年度末までに現在の支援人数(5名)に加えて3名の資格所得支援。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ○環境面について 学童での取り組みに関してはSDGsに関するものも含めてスタッフ全体で共有し、探究活動に関する認識共有を行うミーティングが実施しています。 ○社会面に関して サス学で実施されている内容の共有・改善に関するミーティングを実施しています。 ○経済面について キャリアアップ面談を各スタッフに対して実施しています。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				